

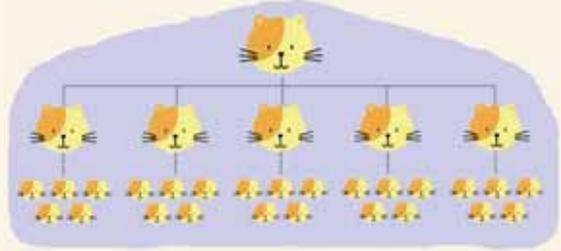


## 猫の「不妊手術」のススメ

どうしよう?? こんなに増えたら!

- ① 猫は「生後6か月～9か月で妊娠」できます。
- ② 猫は「出産後約2か月で再び妊娠」できます。
- ③ 猫は「年3回以上の出産」ができます。
- ④ 猫の「妊娠期間は約2か月」です。
- ⑤ 猫は「1回の出産で平均5匹の子」を産みます。

$$\textcircled{1} + \textcircled{2} + \textcircled{3} + \textcircled{4} + \textcircled{5} =$$



不妊手術をすると

※ 授乳中の子猫（生後3か月未満）を母猫から離すと、母猫はすぐにまた、妊娠可能になります。

メス	① 望まない妊娠を防げる（不幸な猫を減らせる）	② 穏和な性格が保たれる	③ 発情期の異常な鳴き声などがなくなる	④ 子宮蓄膿症や卵巣のう腫などの病気を予防できる
オス	① メスを妊娠させない（不幸な猫を減らせる）	② 性格が穏やかになる（ケンカも減らせる）	③ 前立腺の病気や肛門周辺の腫瘍などを予防できる	④ 発情しているメスがいても外に出たがらない

不幸な命を作り出さない・増やさないためには「不妊手術」が必要です。

※ 不妊手術の時期は、生後半年後以降、早めの時期をお奨めします。

## 猫の「室内飼い」のススメ

猫にとって、家の外は危険がいっぱいです。

たとえば、**交通事故**、**他の猫との接触による感染症やケガ**、**望まない妊娠**、**迷子**など、本来の猫の寿命を全うすることなく、短い命で終わってしまう要因であふれています。

また、猫を外に出している場合、気付かないところで**ご近所に迷惑をかけてしまっている**かもしれません。

< 動物指導センターでは「猫の室内飼い」を推奨しています >

猫の行動範囲はもともと広くはなく「なわばり」を作って生活する習性があります。ですから、家の中に「なわばり」の条件（十分な食料・安全で快適な寝場所・清潔なトイレなど）が揃っていて、猫にとって安心で危険のない環境を作れば、そこは猫にとって「**最高に贅沢で幸せな場所**」になります。

< 猫を室内で飼う場合のポイント >

### ① 居心地の良い環境

新鮮な水・食事・清潔な猫トイレ・寝場所を用意してください。

※ 新鮮な水を与えるには「給水器」を使うと便利です。

※ 猫を2匹以上飼う場合は「猫の数+1個」のトイレを用意してください。

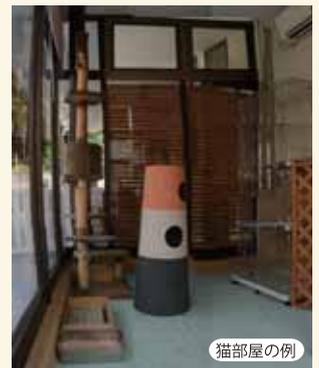
### ② ストレスを発散できるようにする

高低差を利用して、猫が自由に遊べるようにします。

※ 高低差をつけて猫が移動できるようにすると、必要な運動量を満たしてストレスも発散できます。また「爪とぎ」や「おもちゃ」なども十分に用意してください。

### ③ 猫と遊ぶ機会を大切にする

飼い主が猫と一緒に遊ぶことは、猫だけで過ごす場合よりも、より大きく質の高い良い刺激になります。ぜひ、猫と積極的に遊んであげてください。



猫部屋の例



3段ケージの例

↑「給水器」でいつでも新鮮な水が飲めるようになっています。

< 猫の「室内飼育用ケージ」をご存知ですか? >

常に猫を入れっぱなしという訳にはいきませんが「夜間や飼い主が外出する時などに、飼育用ケージの中で過ごさせる」などの使い方をすると役立ちます。

餌を与えるときに、毎回、飼育用ケージの中で食べさせるようにすると「ご飯を食べるのはこの場所!」と猫がおぼえて、ケージの中にスムーズに入るようになります。

交通事故・迷子・病気などの危険から「猫を守ってあげる」ために「完全室内飼い」を強くお奨めします。

## ミニコラム

「家の外にいる猫に餌を与えること」は、「かわいそう」という思いだけではすみません。

「餌を置きっぱなしにしない」「猫トイレの設置や周辺の清掃」などのさまざまな配慮、繁殖抑制（不妊手術）の実施、周囲の理解を得るような努力などを伴わなければ、周囲には「迷惑行為」としか映りませんし、最悪、猫が悪者扱いされてしまう可能性もあります。

「猫が大好き」と「猫が大嫌い」の人の割合は20%ずつで、60%の人が「どちらでもない」そうです。実際、「猫の糞や尿で困っている」と相談される人の多くが「猫が嫌いではないけれど、迷惑をかけられることが困る」と言います。

猫を優しく見守ってくれる人を増やし、人と猫が共に幸せに暮らすことのできる方法を考えてみませんか?